

事務事業 No./名称	■サービス部門 経企-11 国際交流推進事業 □支援部門						
主管課	秘書広報課	関連課					
分野名	多文化共生社会						
目標 (目標値)	人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	268	1,075	284			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	268	1,075	284			
	人員配置数	0.5	0.5	0.5			
	人件費(千円)	4,057	4,380	4,408			
事務事業運営経費	協働のパートナー	国際交流・協力団体連絡会	国際交流・協力団体連絡会	国際交流・協力団体連絡会			
	総事業費(千円)	4,325	5,455	4,692			
	市民1人当りの経費(円)	24	31	26			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
国際交流フェスティバルの規模 (参加団体数)	○	目標値	19	20	20	20	20
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	20	17	16	17	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
国際交流推進事業	268千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨励金・親善友好ハンズなどの交付や情報提供、市民レベルの国際交流・協力事業を支援。</li> <li>・将来の国際交流・協力活動の拠点づくりを目指した、国際交流フェスティバルを開催。</li> <li>・国際交流・国際協力について考え、行動するきっかけとなるべく、国際交流講座を開催。</li> </ul>			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要				
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要				
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	・「活動拠点の整備」については、連絡会としての取組みが未解決になっている。		
課題解決のための取組	・「活動拠点の整備」を目指すため、連絡会のうち参加を希望する団体で「かまくら国際交流フェスティバル実行委員会」を組織し、かまくら国際交流フェスティバル2013を開催し、各団体の横の連携を深めることができるように努めた。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	・「活動拠点の整備」については、連絡会としての取組みが未解決になっている。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		これまでも同様に国際交流・協力団体相互のネットワークの強化が図られるようにするため、連絡会の開催及び情報紙の作成などを継続的に実施していく。また、平成23年度からスタートした国際交流講座の開催を通じて、国際交流・国際協力をより身近なものとなるよう努めていく。	課長等名
		③有効性 ○			秘書広報課長
		④公平性 ○			奈須 菊夫

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
国際交流推進事業	466	市民通訳ボランティア活動謝礼	15	6	○	○	○	○
	466	国際交流講座講師謝礼	50	20	○	○	○	○
	466	国際交流フェスティバル会場内仮設電気設備設置委託料	209	209	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							